

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2020年												2021年										
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~7日	3月 ~14日	3月 ~21日	3月 ~28日	4月 ~4日	4月 ~11日	4月 ~18日	4月 ~25日	5月 ~2日
カンピロバクター	42	46	55	54	92	177	241	189	97	132	148	125	114	65	29	29	38	41	42	21	21	29 (30)	19
病原性大腸菌	22	34	39	30	24	63	60	76	52	42	41	52	39	25	8	10	19	15	15	4	17	24 (25)	14
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	4	0	2	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	4	1	2	4	10	7	14	29	16	10	10	3	6	5	1	0	1	1	1	0	0	0	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	20	11	3	9	15	15	20	13	17	18	12	14	16	6	9	11	7	8	3	5	3	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	11	17	8	14	14	11	17	9	10	11	9	10	10	2	6	4	3	5	5	6	9	6
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	1	1	2
ロタウイルス	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	1	4	5	1	3	1	1	4	3	3	1	3

* その他の2件は、アエロモナスでした。

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和3年第17週(4月26日~5月2日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	3	結核	3					2		1
三類	0	発生なし	0							
四類	2	レジオネラ症	1			1				
		つつが虫病	1					1		
五類	4	侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		梅毒	3					1		2
新型インフルエンザ 等感染症	491	新型コロナウイルス感染症	491	40	17	53	3	295	7	76

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1 新型コロナウイルス感染症

第17週の新規感染者数は、295件の報告があり、第16週の141件から大幅に増加しています。大型連休が終了し、会社や学校が始まりました。誰でも感染するという意識を持ち、基本的な感染防止対策を徹底しましょう。また、他人に感染させないためのPCR検査を積極的に利用しましょう。

1 誰でも感染するという意識の徹底

自分には関係がない、自分には関係がない、大阪は大変そうだけど広島は大丈夫

感染リスクの高い行動 → 感染 → 職場や施設に感染が拡大 → 家庭内に感染が拡大

2 基本的な感染対策の徹底

マスクの着用、こまめな手洗いや手指消毒、人との距離を保つ

感染につながりやすい行動を避けてください

- × 狭い空間に長時間、大人数が滞在
- × マスクを外して大声で会話

3 他人に感染させないためのPCR検査の積極的利用

広島市: 新型コロナウイルス感染症の発生等に関する記者発表資料
 【令和3年4月26日(月)】広島市の感染状況と感染対策について (<https://www.city.hiroshima.jp/uploaded/attachment/146138.pdf>)より

2 つつが虫病

今年初めて1件報告されました。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	増減	
													急増減	増減
フィレン	インフルエンザ	-	-	0.71			流行性耳下腺炎	1	0.04	0.22			急増減	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
小児科	咽頭結膜熱	10	0.42	0.54			RSウイルス感染症	6	0.25	0.32			増減	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	0.79	2.58	⇒		急性出血性結膜炎	-	-	0.05			微増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	感染性胃腸炎	289	12.04	6.75	⇒		流行性角結膜炎	4	0.50	0.88			横ばい	ほとんど増減なし
	水痘	2	0.08	0.30			細菌性髄膜炎	-	-	-				
	手足口病	-	-	0.80			無菌性髄膜炎	-	-	-				
	伝染性紅斑	1	0.04	0.28			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03				
	突発性発しん	8	0.33	0.44			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	ヘルパンギーナ	-	-	0.14			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	1.34				

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	40	80歳代・2人
4	つつが虫病	1	1	60歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	2	10歳未満
5	梅毒	1	16	30歳代